

# かがやきだより

令和6年7月



7月21日(日)中国地方の梅雨明けを気象台が発表しました。

今年は梅雨入りが遅かったため、梅雨の期間は約30日間と平年の70%ほどの短い梅雨になりました。期間は短かったのですが梅雨期間降水量は多く、広島では470.0mm(6/22~7/20)と平年比の150%でした。

梅雨が明けるといよいよ夏本番。暑さも格別で熱中症が心配です。体の中の水分が不足して体温が上昇することで起きる熱中症。特に体内の水分量が少ない高齢者は季節を問わず食欲不振などをきっかけに熱中症になることが多く注意が必要で、夏に限ったことではありません。

毎年“熱中症注意”の呼びかけが初夏から始まりますが、注意しても多くの熱中症患者が救急搬送される現状です。

## 熱中症予防のポイント



帽子・日傘を  
利用

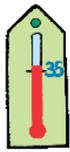


こまめな  
水分補給



適切な  
冷房利用

ウェザーニュース



7月22日は“一年で最も暑い”とされる二十四節気の「大暑」です。この日は暦通りの暑さで、熱中症警戒アラートが東北南部から沖縄にかけて今年最多となる39都府県に発表されました。熱中症予防のポイントを押さえて、涼しい環境で無理をせず栄養と休息をとり熱中症予防に努めましょう。

ところで、7月のトピックスは「新紙幣」ではないでしょうか。

令和6年7月3日に、新しい一万円札、五千円札、千円札が発行されました。20年ぶりに新しくなったお札では、偽造対策が強化されたほか、お札を識別しやすくするための新たな工夫が施されています。



新しいお札の「顔」は日本の近代化に貢献した3名の肖像で、一万円札には生涯に500もの企業の設立に関与したといわれ

近代日本経済の父と呼ばれる実業家「渋沢栄一」、五千円札には日本最初の女子留学生であり、女子英学塾・現在の津田塾大学を創立した教育家の「津田梅子」、千円札には世界で初めて破傷風菌の純粋培養に成功し、市立北里研究所を創立した細菌学者の「北里柴三郎」。新たな産業育成、女性活躍、医学の進歩に寄与した3名です。

かがやきの利用者様は最年少が84歳で最年長が100歳。「お札の顔は誰か？」と尋ねたら「分らんね～」と答える方が多かったのですが、最年少の利用者様が「福沢諭吉」と即答でした。「聖徳太子」との答えを期待したのですが…一人も出ませんでした。「(新紙幣は)まだ見ないねえ。いつ手に入るかね？」と、皆でワクワクしています。



## 令和6年7月・8月の予定

- 7月9日(火) 10:30~ 七夕会 (落走保育園とオンライン交流)
- 7月18日(木) 14:00~ 運営推進会議 (2F 理学療法室にて)
- 8月8日(木) 13:30~ 夏祭り



## お知らせ

- 新型コロナウイルスが7月から全国で急拡大し、第11波かと言われています。呉市の感染者状況は全国平均並みと多く、喉風邪の症状が多いようです。熱中症予防と合わせ体調管理を行い引き続きの感染予防(手洗い、マスク、密を避ける)を心がけましょう。
- 新型コロナウイルス状況を踏まえ当面の間、面会及び理美容サービスを中止させていただきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。



令和6年7月23日